

2022 年度 部局 FD 活動報告

看護学部・研究科

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください） 実施体制：看護学部 FD 委員会（4 名，河野あゆみ委員長，長田暁子副委員長，伊藤良子，細名水生）		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
7 月 6 日	第 1 回ジャーナル・カフェ テーマ「英論文抄読の意義と進め方」 話題提供者：河野あゆみ教授（地域包括ケア科学）	38 名
8 月 3 日	第 2 回ジャーナル・カフェ テーマ「アクションリサーチのすすめ方について」 話題提供者：長田暁子准教授（家族支援看護科学・小児看護学）	39 名
9 月 7 日	第 3 回ジャーナル・カフェ テーマ「代替補完療法の介入研究のあり方」 話題提供者：細名水生准教授（ヒューマンケア科学）	41 名
10 月 5 日	第 4 回ジャーナル・カフェ テーマ「観察研究におけるデータ収集」 話題提供者：深山香織講師（生活支援看護科学・在宅看護学）	23 名
11 月 2 日	第 5 回ジャーナル・カフェ テーマ「シングルケース実験デザインによる介入効果の評価について」 話題提供者：白井みどり教授（高齢者生活行動ケア科学）	27 名
12 月 7 日	第 6 回ジャーナル・カフェ テーマ「マイナーなテーマ・研究方法を用いた研究の論文アクセプトについて」 話題提供者：中山祐一講師（家族支援看護科学・小児看護学）	28 名
12 月 21 日	看護学部 FD 研修会 テーマ「看護実践力と自律的学習能力を伸ばす看護基礎教育」 1. 基調講演「アクティブラーニングを進める教育設計」 中井俊樹教授（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室） 2. シンポジウム話題提供者 ①「自律的学習能力を伸ばすポートフォリオの活用」 星野聡孝教授（国際機関教育機構） ②「シミュレーション医療教育について」 首藤太一教授（医学部総合医学教育学） ③「看護実践力を伸ばすアクティブラーニング」 杉本吉恵教授（看護学部・看護技術学分野）	75 名
2 月 1 日	第 7 回ジャーナル・カフェ	30 名

	テーマ「〈性暴力被害者にあうこと〉をめぐる「他者」を媒介とした語りの分析」 話題提供者：伊藤良子講師（基礎看護科学・看護技術学）	
3月1日	第8回ジャーナル・カフェ テーマ「〈あなたはお酒に強い？それとも弱い？〉と新型コロナウイルス mRNA ワクチンに対する反応性のお話」 話題提供者：藤田寿一准教授（健康支援基礎科学）	37名
1. 教育改善・教育評価・FDに関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第1回（*月*日）～について」「第2回…」と記載）	委員の人数
FD委員会	第1回(5月2日)FD活動の検討について	4名
FD委員会	第2回(6月9日)FD研修とジャーナル・カフェについて	4名
FD委員会	第3回(7月5日)FD研修とジャーナル・カフェの検討	4名
FD委員会	第4回(1月25日)FD研修のまとめ、活動報告について	3名
2. 上記以外の教育改善・FDに関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に）		
3. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄（必ずご記入ください）		
看護学部 FD 委員会では、GPC データについて看護師国家試験結果との関連の分析と対策、入試方法に基づく分析による入試改革への活用、新カリキュラムの評価に用いていく方向性を検討した。		
4. 年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 [実数]（必ずご記入ください）		
・年に1回以上、FD活動に参加した専任教員の人数 （ 67 ）人 ・所属内の専任教員の人数 （ 70 ）人		
5. その他、追記事項		